

第8回

北区リレーションシップ協議会会議録

令和元年 12 月 12 日

第8回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 令和元年12月12日(木)

開会 午後7時00分 ～ 閉会 午後8時30分

出席委員(16人)

- 座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
副座長 北区町会自治会連合会 薄井 哲夫
委員 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之
委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
委員 東京都北区体育協会 根本 貞義
委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスボたきのがわ 大竹 秀樹
委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
委員 東京商工会議所北支部 越野 充博
委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
委員 北区小学校PTA連合会 森 健太郎
委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 將雄
委員 北区青少年委員会 清水 恒明
委員 北区政策経営部長 中嶋 稔
委員 北区地域振興部長 関根 和孝
委員 北区教育委員会事務局教育振興部 小野村 弘幸

欠席委員(8人)

- 委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
委員 特定非営利法人れっど★しゃっふる 吉村 実花子
委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
委員 北区文化振興財団 石山 泰史
委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
委員 北区立中学校PTA連合会 川染 誉

次 第

1 開会

2 座長あいさつ

3 協議事項

- (1) 東京2020大会コミュニティライブサイトについて

4 報告事項

- (1) ラグビーワールドカップ2019™日本大会パブリックビューイング実施報告について

- (2) ハンガリー関連事業の報告について

- ①学校給食におけるハンガリー料理の提供および交流会

- ②ハンガリーフェア in 北区

5 その他事務局から

- (1) (仮称) ハンガリー応援団設立について

6 各団体・機関からの報告

7 今後のスケジュール

8 閉会

午後7時00分開会

第8回北区リレーションシップ協議会

令和元年12月12日

【齊藤座長】 それでは、まだお集まりでない方もいらっしゃると思いますが、定刻になりましたので、時間通り始めたいと思います。

ただいまから第8回の北区のリレーションシップ協議会を開催いたします。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

前回の会議は、確かラグビーのワールドカップの時期だったということを記憶していますが、あんなにラグビーが盛り上がるとは思っていませんでしたけれども、盛り上がってよかったなど。後ほど、パブリックビューイングのところもありますが、かなり大勢の区民の方が集まったということでございます。

では、これから会議を始めますが、会議に当たって、議事録を作成いたしますので、まずは音声を録音させていただきます。それと、ご発言の際はマイクを回しますので、マイクを通じてご発言をお願いいたします。また、会議の活動記録作成のために写真等も撮らせていただきますので、こちらのほうもご了承ください。また、この会議は公開という形になっておりますので、傍聴を希望される方が会場に入っております。この点もご承知いただければというふうに思います。

では最初に、まず、本日の資料の確認ということで、事務局のほう、お願いいたします。

【事務局】 事務局の大熊と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の式次第ですね、あと、本協議会の構成員名簿、本日の分になります。席次表がございます。続きまして、協議事項につきましての資料1、東京2020大会コミュニティライブライトの実施案についての資料が両面印刷の2ページになっております。資料2以降は報告事項になっております。資料2はラグビーワールドカップ2019TM日本大会パブ

リックビューイングの実施報告についての片面1ページです。資料3は学校給食におけるハンガリー料理の提供及び交流会の実施についての資料で、これも両面印刷による2ページになっております。資料4は、ハンガリーフェア in 北区の実施報告についての両面印刷による2ページのものとなっております。また、日本スポーツ振興センターの河村様より、本年の10月14日の体育の日に開催いたしましたスポーツ祭り2019の報告資料をご用意しております。あと、こちらにボールペンがございます。ハンガリーの応援気運を醸成するために区で作成したボールペンです。ボールペンの中には、日本語で頑張れを意味するハイラーというハンガリー語が記されております。

以上の資料を確認させていただきます。何か、ないものはありますでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、座長、お願いします。

【齊藤座長】 それでは早速、アジェンダに沿って進めてまいりたいと思いますが、まずは3番の協議事項というところで、(1)になりますが、東京2020大会コミュニティライブサイトについてということで、こちらのほう、資料1をもとに事務局のご説明願います。

【事務局】 皆様、こんばんは。東京オリンピック・パラリンピック担当課長をしております上里です。本日はよろしく願いいたします。

まず初めに、後ほど報告事項としてご紹介させていただきますけれども、ハンガリーフェア in 北区、こちらですね、リレーションシップ協議会の皆様方、各団体の皆様方の多大なるご協力によりまして大盛況のうちに終わりましたこと、まずはお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

それでは、まず、資料1に基づきまして、協議事項、東京2020大会コミュニティライブサイトの実施案についてご説明させていただいた後、皆様方に協議いただきたい事項、ちよっとご説明をさせていただきます。

まず資料1、お手元にご用意ください。東京2020大会コミュニティライブサイトの実施案についてということでございます。コミュニティライブサイトにつきましては、従前か

らちょっとご説明させていただいていますが、復習ということで簡単にご説明させていただきます。

こちらのイベントでございますが、大会の気運や地域の一体感を醸成するとともに、にぎわいの創出や多様な主体との連携による地域活性化のために実施するというものでございまして、下の※1というところに書いてありますけれども、協議中継と催し物を同時に開催すると、そして、地域の人々、皆様方が子供からお年寄りまでお集まりいただきまして、お住まいの近所で、身近な場所でオリンピック・パラリンピックに参加するという体験を楽しんでいただく、こちらを自治体主催で実施するというものでございまして、まさに皆様方に参加したという感動と記憶を残していきたいというものでございます。

実施期間でございますが、オリンピックとパラリンピックの全期間を北区では予定しております。なお、オリンピックにつきまして、開会式は7月24日でございますが、復興五輪ということで、開会式の前から、22日からサッカー、ソフトボール等を実施するというので、この期間となっております。

会場でございますが、北とびあ、さくらホールや区民プラザほかでございます。

内容につきましては、競技中継、いわゆるパブリックビューイングといわれている大型スクリーンによる競技中継と会場の装飾、それからステージイベント、展示、飲食売店等となっております。

内容につきまして、裏面をご覧ください。こちらは、6月ですね、今年度の1回目のときに、コミュニティライブサイトということで本当に概要的なところだけご説明させていただきました。そこから変更となっているところがございますので、そのところのご説明させていただきます。

競技中継につきましては、22日からパラリンピックの最終日、9月6日までモニターを設置して行うというものでございます。ステージイベントでございますが、ステージイベントと飲食売店ですね、こちらは当初、7月24日、オリンピックの開会式のときのみカウントダウンゼロ、開幕イベントとして大いに盛り上げたいということで、24日だけの予定

でしたが、この間、さまざま検討させていただきました。また、ラグビーのワールドカップ、パブリックビューイング並びに全国の盛り上がり等を見させていただいたところ、やはり一定程度、メリハリのある運営、そして週末ですね、特に競技、オリンピック・パラリンピックにつきましては人気競技の決勝、準決勝等が集中していますということもございますので、今回、オリンピック・パラリンピックの開閉会式並びに金曜日、土曜日、日曜日に当たる週末、こちらにつきましてステージイベントと飲食売店を追加させていただいたというところが、これまでからの変更点でございます。

また、主催者展示というところがございますが、8月4日から8月9日まで丸がついてございますが、こちらは例年、区のほうで行っております平和祈念週間のイベント、この中の一部、折り鶴ですね、区民の皆様が区民プラザ1階のロビーで折り鶴を折っていただくというコーナーがございますが、こちらをコミュニティライブサイトの区画の中で一緒になってできないかなというところで、丸をつけさせていただいたというところがございます。

なお、開催時間ということで、開始が9時、終了が22時、開閉会式につきましては23時と書かせていただいておりますが、あくまでも、こちらの書類でございますが、タイトルに実施計画書と書いてあるとおり、組織委員会に提出する書類の書式でございますので、あくまでも北とぴあの開館時間、閉館時間、利用できる時間をまずは記載させていただいているというものでございまして、この時間内ですべて競技中継をしたり、ずっと売店をやっていたり、ずっとイベントをやっているというものではないと。時間等につきましては、また後ほどちょっとご説明させていただければと思っております。

変更点につきましては、このステージイベント、飲食売店の実施日が追加になったというところがございます。

それからまた、表面にお戻りいただきまして、今後の予定というところがございます。4番でございますが、12月13日、今週中に、基礎情報といひまして、裏面にあった大まかなスケジュール、どういう日にどういったことをやるかというレベルのものを大会組織委

員会に提出させていただきます。また、3月31日、年度末までに実施計画書の詳細情報ということで、例えば、恐らくですけれども、書式について、まだちょっと組織委員会から届いていないので、推測ではございますが、例えば飲食売店でどういったものを出すのか、店舗は幾つ出すとか、どういった団体が出店するとか、例えば、それ以外には、競技中継につきましても、どういったものを何時から何時までやるとか、そういった詳細なところは年度末までに決めていくというふうに想定してございますので、現時点ではまだ固まっていなくて問題はないというふうに認識しているところでございます。

続きまして、5番、その他ということでございますが、従前から皆様方をお願いしているとおり、こちらの大会につきましてはスポンサー、大会パートナーですね、ブランド保護に配慮しながらではございますが、区内の関係関連団体、皆様方と一緒に協力しながらつくり上げていきたいなと思っているところでございます。

そして、運営、管理体制というところで、いろいろなやり方があるかとは思いますが、先日のハンガリーフェア、皆様方の協力によりまして、非常にうまく連携がとれたかなと感じているところでございまして、また準備期間がもうなかなか短いというところもございますので、このコミュニティライブサイトにつきましてもハンガリーフェアと同様の企画、運営の仕方をとっていきたいなと思っております。

具体的には、区側で事業全体の構成を管理、また全体の管理運営につきましては業務外部委託を予定しております。その中で、裏面にございました、いわゆるコンテンツといわれるステージイベントであったり、飲食売店、こういったところを皆様方と連携していきたいなと思っております。

詳細につきましては、連携させていただく団体様同士、我々も含めまして、随時打ち合わせをしていく、その中で、今後また予定しております2月、また来年度の5月、6月ぐらいでしょうかね、行う予定でありますリレーションシップ協議会、本会をもちまして、こちらで報告、確認というような形で進めていければなと思っているところでございます。

まず、資料の説明については以上でございまして、本日この資料をもちまして皆様に協

議いただきたい事項ですね、いわゆる到達点といいますか、そういったものが2点ございますので、こちらをご意見等、いただければと思っています。

まず1つ目が、この実施計画書裏面の、今回変更しましたというところの、いわゆるオリンピックの開会式以外の日程の週末、閉会式、イベントと売店、増やしたところについて、我々としてはこういった案でどうかなというところだったんですけれども、こちらについてちょっとご意見いただきまして、全体の計画、こちらはもう今週中に決めて組織委員会に出さなければいけないので、そこのご意見をいただきたくて、皆様の合意をいただきたいというところが1つ。

また、この赤枠のところを実施しますよとなった場合に、2つ方法があるかと思っております、1つは、もう丸ごと全て業務委託、業者さんにイベント自体を全部委託して、その業者さんの中で、例えばステージイベント、出演者も含めて、飲食売店であれば店舗、企業さんも含めて全部調達していただくという方法がございますが、やはり連携したいということで、ハンガリーフェアのように、ステージイベントであったり、飲食売店につきましては、皆様方で協力していきましようというような合意をいただければなと思っていますので、この全体の計画自体がこれでいいかどうかというところと、コンテンツにつきまして連携いただけるかどうか、この2点を協議いただきまして、合意に達せればなと思っていますので、まずこの2点につきましてご意見いただければと思います。よろしくお願いたします。

【齊藤座長】 説明ありがとうございます。コミュニティライブサイトのいわゆる外枠というか大枠、時間帯等が決まってきたということで、リレーションシップ協議会のほうには、関係団体のほうに、赤枠のところですね、これの実施がいかがかという部分と、あと具体的には、これに関してご協力いただけるかという部分も2点だと思いますが、いかがでしょうか。

【尾花委員】 商店街連合会の尾花と申します。業者委託になりますと、どうしてもかたい感じになりますし、やっぱり北区で皆さんと盛り上げていくことになれば、皆さんの手

づくりでつくり上げたほうが、まあいいかなということで、商連としてはそれに対しての参加とかそういうのはお任せしますけれども、一応協力はするというで話しています。よろしくをお願いします。

【齊藤座長】 商店街の連合会さんに協力いただくと、一番心強いかなと思いますけれども、ほかに、いかがですか。

【越野委員】 東京商工会議所は、先日のハンガリーフェア in 北区のほうでもいろいろと連携をさせていただいて、大変いいイベントになったかなというふうに思っております。ぜひ協力を申し上げたいというか、まあ我々も一生懸命やりたいなというふうに思っております。

観光協会さん、今日欠席なんですけれども、杉山事務局長から話をいただいております。同様に、そうさせていただきたいというふうに考えています。

【齊藤座長】 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

特にご意見がないということは、前向きに捉えてよろしいですか。

【関根委員】 ちょっと内々の話にも若干、なってしまうんですけれども、今、外部委託の内容が出て、その外部委託の程度がいろいろと意見によって今後、動いてくるということになると、恐らく仕様書とかも若干、それによって動いてしまうかなという気がします。ちょっと、北とぴあの管理をしている立場という部分から申し上げますと、指定管理者の方が、例えばこの北とぴあの管理運営をしていますから、指定管理者のほうにちょっと協力をお願いすべきところと、あと委託で任せたほうが、どちらがいいかというところとか、どちらのほうがお互いやりやすいかというところもちょっと調整した上での、最終調整が必要なかなというのは思いましたので、この場で一言申し上げておきます。すみません、お願いします。

【越野委員】 ちょっと質問させていただきます。ちょっとニュアンスが違うような。今、関根委員がおっしゃったのは、まず上里課長が言われたのは、業務委託をするのではなくて、要するに、さっき、考え方としては、ステージイベントなんかをぽんと業務委託して、

その下でもっていろいろな企画をしてもらっちゃうというやり方もあるけれども、そうじゃなくて、ハンガリーフェア in 北区のようなやり方で、北区さんがある程度イニシアチブとかいろいろなことを、レギュレーションを決めていただいた上でもって、それで地域の団体が協力するという話だったわけでしょう。

【関根委員】 はい。

【越野委員】 だから、業務委託という話は、我々が合意すればそこで一回消えるわけでしょう。そういうことですよね。

【事務局】 ステージイベントの部分ではなく、全体の、いわゆる警備の部分ですとか、会館の管理というところで、協力を得られるところ。

【関根委員】 大変申しわけありません。私、いわゆるソフトのコーナーの部分だけのことでなく、行っている期間中の、この北とぴあの中のいわゆる警備も含めた管理という部分では、当然その形態を保ったまま、オリンピック・パラリンピック期間中、その形態が維持されなきゃいけないということになると、当然、日常はこちらは指定管理者のほうで警備等を行っていますから、そういった業務にも当然、管理をしていただくという部分を、例えば指定管理者のほうに最初からお願いして、日程とか内容とか、あるいは人員体制の強化だとか、そういったことも含めて、ちょっと調整はしておいたほうがいいのかというふうに、そういった意味で。

【越野委員】 まさに、だから、その前段の内部の話になりますよというのは、まさにそういうことですよね。確認できました、わかりました。

【関根委員】 そういうことです、すみません、失礼しました。

【齊藤座長】 いわゆる施設を管理しているという部分でのことですね。

【根本委員】 体育協会の根本なんですけれども、ちょっと1つ、初めてというか、ステージイベントで、私は体育協会なんですけれども、スポーツ関係のイベントができる可能性もあるんですか、それとも、全然そういうのはもう度外視。もしあれば、協力してもいいのかなと思います。

【事務局】 まず、先ほどちょっとお話が、関根委員から補足がありました、施設管理、運営につきましての委託と現状の指定管理との関係を、まずご説明させていただいた後、ステージイベントについてご説明させていただきます。

すみません、私の説明が、いきなりコンテンツだけの話をしてしまったので、ちょっと混乱を招いてしまったかなということで、まず前提としましては、北とぴあでやりますので、北とぴあ全館、通常の、現在もそうですけれども、管理している業務は通常どおりやっていると、その中で、我々が1つイベント、区民プラザという大きなスペースを、また、24日につきましてはさくらホールを使わせていただいたり、あと飲食売店につきましては玄関の外を使わせていただくというところで、そこにつきましては、イベントをやる部分につきましての、例えば警備とかそういったところにつきましては、指定管理さんが行っている通常の業務プラスアルファのところが発生してきますので、そこにつきましては、どこまでが指定管理、通常業務の管理の仕方なのか、イベントに付随するというところで我々のほうで追加しなければいけないかというところは、今後調整させていただくというのがまず前提でございます。その中で、コンテンツ実施するに当たっても、施設そのものの制限とかもございますので、そこにつきましては調整させていただくということになってございますので、ちょっと説明をはしょってしまいましたので、混乱をいたしまして、失礼いたしました。

続きまして、ステージイベントでございますけれども、現時点でこういうものをやりたいという、何となくのイメージだけちょっとお伝えさせていただきます。ステージイベントでございますが、まず、場所、24日につきましてはさくらホールのステージを予定しております。どちらかという、開会式が8時から始まりますので、その前段の盛り上げというところをやりたいなど。また、開会式につきましては、その分ですね、区民プラザも放映等はない、客席はあるんですけれども、競技中継はないので、そのところにもモニターを設置して、その前、もしくはその横あたりにちょっとした小上がり的なステージ、小さいステージをつくりますので、そこで行うというものでございます。さくらホール以

外は区民プラザでちょっとしたステージをつくると。

中身につきましては、いろいろあるかと思っています。一つ想定されているのは、北区ゆかりのアスリートが大会に出る、本大会に行く前の壮行会であったり、結果の報告会、区民の皆様への報告会、また、ハンガリーの選手等も同様に、壮行会であったり報告会などが想定されるかなど。また、盛り上げるというところで、ゲストを招いてのトークショーであったり、そういったものがまずあるかなど。

それ以外に、協力いただけるのであれば、例えば、よくあると言ってしまくと語弊があるんですけども、地域のお子さんたちで少しパフォーマンスをやっていただくとか、そういったこともあるかと思えますし、そうですね、例えばニュースポーツで何かあれば、そういった競技も紹介いただくとか、例えばパラリンピックであればルール説明を、ちょっと解説を入れるとかそういった、いろいろあるかと思っています。

そういった中で、どういったものが可能かなというところも含めて、3月末までにちょっと皆様方と協力、どういったところがあるか、どういった内容ができるかというのは、ちょっと協議していきたいというところがございますので、本日、既にぜひ一緒にということであれしい声をいただいておりますが、本日この場だけで即決できない部分もございますので、まずお持ち帰りいただいて、ちょっと話し合いに参加してみようかなというようなことでお返事いただければと思っています。

また、その3月末までの間に、こういったリレーションシップみたいな形式的な本会議のような形ではなくて、作業部会的な、例えばステージイベント作業部会、飲食売店作業部会というような形で、事務レベルのところでも随時打ち合わせをしていきたいと、その中で中身は皆様方と、よりいいものをつくれるように相談していきたいなと思っていますので、まだ具体的にこれとこれをやりますというところは、皆様方のご意見聞きながら、いかに盛り上げられるかを考えていきたいなと思っています。

以上でございます。

【齊藤座長】 よろしいですか。事務局としては、ざっくりとイメージしていることはあ

るんだけど、プラスアルファの部分でご協力いただくところは、というところですね。

さて、そのほかいかがでしょうか。この場でこういうものをということは、なかなかご発言はないと思いますが、この後、個別に事務局のほうで相談に行っていたらということ、その中で、特にステージイベントの部分だと思いますが、それにもご提案を願いたいということだと思います。

【越野委員】 さっき時間の、ざっくりこれ、提出しなきゃいけないというとり方だという、ご説明はよくわかったんですけども、ですから、今の話も、これだけ団体あって、いろいろな、逆に言えば、パフォーマンスにしても何にしても、やりたいという話が出てくれば、じゃ、一日使ってそれで割り振っていかうかとかという、そういう考え方だということですよ。

【事務局】 まさに越野委員、おっしゃるとおりでございます。ただ、その前提となるのがこの裏面のスケジュールでございますので、この丸がついていない日にやるというのが今後できなくなりますよというところで、この週末、また開閉会式をメリハリをつけて盛り上げたいなというところでございます。

また、すみません、ちょっと補足になりますけれども、そうはいつでも、競技中継がやはり中心なのかなというところでございます。放送スケジュール、コミュニティライブサイトの競技中継につきましては、いわゆる一般に放送されている、NHKであったり民放で放送されている番組を使用するというものになりますので、この放送スケジュールが決まるのが大会開幕の一、二カ月前と言われております。ですので、早くても2カ月前に最終的なスケジュールが決まってくるかなと思っております。

区としては、やはりまず第一には、北区ゆかりのアスリートが出場する折には、そちらを中心に、またハンガリーの柔道、フェンシングの選手の出場の種目等につきましても、中心的には盛り上げたいなど。そこにまた、区民の方々が一体となって盛り上げられるような、注目競技等も織り交ぜてというふうに考えていきますので、細かい詳細なスケジュールにつきましては、競技のスケジュールは決まっているので、そこを踏まえて、まずは

3月末までに、ステージイベントを何時ごろにやろうかとか、どんなのがいいかとか、飲食売店もお昼時がいいのか夕方がいいのかというのは、あくまで、まずは競技スケジュールで決めていって、最終的に放送するというところの決定は、もう放送スケジュールが決まってからという形になりますので、まず、実際のスケジュール感も、3月末までにおおよそ決めていきたいなというところでございます。

【齊藤座長】 よろしいでしょうか。大体2カ月前ですか、放送スケジュールとかは。

【事務局】 そのように聞いておりますが、まだ正式にというところではなくて、内々にはそのように聞いているというところでございます。

【齊藤座長】 では、ほかにもございますでしょうか。

特になければ、裏面の赤枠の部分に関しての時間帯、日程に関しては了承するという形にしたいと思いますが、よろしいですか。ありがとうございます。

では、次にまいりたいと思います。続いては、4番の報告事項のほうに入ってまいりますが、まずは（1）ラグビーワールドカップ2019TM日本大会パブリックビューイング実施報告についてということで、こちらのほう事務局のほうで説明願います。

【事務局】 それでは、お手元に資料2、ラグビーワールドカップ2019TM日本大会パブリックビューイングの実施報告についてをご用意いただければと思います。

要旨でございますが、ラグビーへの興味関心を高めるとともに、大会への気運醸成を図り、翌年の東京2020大会への気運情勢にもつなげていくため、大型モニターを利用したラグビーワールドカップの観戦イベントを実施するというものでございました。また、開催期間中にタグラグビー教室を同時に開催するというところで、より一層のラグビーへの興味関心を高めて気運を醸成していくというものも行ったものでございます。

実施内容でございますが、（1）、こちらパブリックビューイングでございますが、お示しのとおり、当初、日本戦の予選プール、4試合を予定してございました。そして、ご承知のとおり、日本代表がベスト8進出というところで大いに盛り上がったということで、急遽、10月20日の準々決勝、南アフリカ戦を実施したということで、計5試合、放送をさ

せていただきました。

そういった中で、観覧者数でございますが、初日は70名ということでございましたが、徐々に増えていきというところで、当初は30席から50席ぐらい用意ということでございましたが、施設側との調整もうまくいきまして、椅子を増やして、観覧者数も、入場をお断りすることなく運営できたというところでは、また、ボランティア人数ということで、お示しのとおり、スポーツボランティアさん、期間に5試合ともご協力いただいて、スムーズな運営ができたということでございます。

また、この期間、9月28日と10月20日につきましては、下のところの委託業者というところに（株）ドゥ・クリエーションと書いてございますが、こちらと調整させていただきました。MCを入れさせていただきました。こちらは試合開始前とハーフタイム、そして終了後ということで盛り上げていただきましたので、やはりメリハリがあって、一体感が生まれたかなというところ、それから、10月13日につきましては、王子桜中のラグビー部の生徒さんが皆さん、お越しいただきましたので、試合前に少し、ラグビーのよさであったり、自己紹介等をさせていただいて、一緒に盛り上がり、できたかなというところがございます。

会場につきましては、赤羽体育館の1階の98インチの既設のモニターでございました。

それから、その他ということで、観覧者には小旗であったりピンバッチ等を贈呈して、より一層の一体感をつくり上げることができたのかなというところがございます。

(2) タグラグビー教室とのコラボということでございますが、9月28日だけにつきましては、試合開始時間が16時15分ということで早かったということもございますので、午後から小学生等を対象と、お子様を対象としたタグラグビー教室、こちらはタックル等がない安全に配慮したラグビーということでございますが、こちらを行いまして、参加者合計で61名ですね、お子様等にご参加いただいたというところがございます。また、講師、東京セブズラグビースクールでございましたが、その後、パブリックビューイングにつきましても一緒に観戦いただいて、大会を盛り上げていただいたというところがございます。

す。

資料に記載の内容は以上でございますが、補足という形で、担当者レベル等で、こういったところがよかったかなとか、まだ改善、今後の東京2020のコミュニティライブサイトへつなげていける点かなというところが幾つかあったので、ちょっとご紹介させていただきますと、お示しのとおり観覧者数が予想を上回る人数でございましたので、一時的に入場規制どうかという話もございました。そんな中、施設管理者とうまく調整できたというところもございまして、安全に配慮しながら運営ができた。これにつきましては今後、同等のイベントをする場合には、そういったところもあらかじめ想定して、やっていく必要があるのかなと思ったところでございます。

また、ご紹介させていただいたとおり、MC等、メリハリのある運営と、競技中継をただ流すだけではなくて、やはり盛り上げ役というのが必要なのかなというところも感じたところでございます。そのほかいろいろございますけれども、今後のコミュニティライブサイトの運営に生かしていければなと思ってございます。

報告につきましては以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。確かにラグビーに関しては本当に盛り上がりましたね。余談になりますが、先日、うちの大学のラグビー部が入れかえ戦がありまして、普通だとさほど集まらない試合なんですけど、たくさんの観客がいたのでびっくりしましたけれども、こちらのほうも200名という観客が集まったということで、これはやっぱりオリンピックに向けて、いい経験になりますね。

【事務局】 そうですね、当初からもそのようなところは想定していたんですけども、我々運営側が思っていた以上に、課題であったり、想定していたとおりになったところとかございましたので、非常に大きな収穫があったかなと感じてございます。

【齊藤座長】 今の報告に関して、何か質問等ございますか。よろしいですか。

では、次にまいります。次は(2)になります。ハンガリー関連事業の報告についてということで、①、②とあります。こちらのほうを一括してご説明願います。

【事務局】 それでは、資料3、資料4をお手元にご用意いただければと思います。ハンガリー関連事業の報告についてでございます。

まず①、資料3でございますが、学校給食におけるハンガリー料理の提供及び交流会の実施についてでございます。要旨については若干割愛させていただきますが、ハンガリーの事前キャンプに向けて、ハンガリーをより身近に感じてもらうというところ、また、食文化、若干異なる部分等もございますので、そちらの食文化の理解と促進とを目的として、区立小中学校の学校給食においてハンガリー料理を提供していただいたというものでございます。また、後ほどご報告させていただきますが、29日につきましては、実際にハンガリーの関係者に学校にお越しいただきまして、交流等を深めたというものでございます。

2の概要でございますが、まずハンガリー給食の提供期間でございますが、10月7日から11月29日の期間、区立小中学校30校で実施をいただいたところでございます。その30校の内訳、またメニューでございますが、裏面に詳細を記してございますので、後ほど見ていただければと思いますけれども、代表的な家庭料理であるグヤーシュからハンガリー風サラダなど、学校で趣向を凝らしたメニューをつくっていただきました。また、恐らくグヤーシュにつきましても、メニューの表示は同じでしょうけれども、材料を含めまして、レシピにつきましては各校で異なってくるかなと思っておりますので、30校、多様なメニューの提供というのが学校でいただいたかなというところでございます。

また裏面にお戻りいただきまして、ハンガリー交流というところで、11月29日金曜日、こちらハンガリーフェアの前日でございますが、堀船小学校と稲田小学校にそれぞれハンガリー関係者をご招待させていただきまして、児童との交流を深めていただきました。

堀船小学校につきましては、柔道のカラカシュ・ヘドヴィグ選手、こちらは先日の9月2日の柔道交流会にもご参加いただきました、現役のハンガリー柔道57キロ級の女子の選手でございます。それから、柔道女子コーチのペーテル・トンチュ氏、それから、通訳のミキ・イベット氏と3名で学校にお越しいただきまして、実際の交流の内容というところでは、給食を食べる前に、6年生のクラスでございましたが、まず6年生のクラスに行く

前に、全てのクラスを巡回して、廊下からになるんですけども、授業風景を見ていただいたと。その後、6年生のクラスに移動していただきまして、こちらに記載ありますこまやけん玉、またおはじきや福笑いなどを体験していただいて、大いに交流をしたということです。

また、写真のところにあるように、黒板に応援メッセージであったり、カラカシュ選手のことをいろいろ児童の皆さんが調べて書いたというところで、カラカシュ選手は学校に行って「とても感激した」というようなことをおっしゃってございました。こういった形で、実際には、一緒に給食を食べているところがございますが、その前の準備段階、給食の配膳というところもカラカシュ選手等が児童と一緒に列に並んで配膳を受けたりというところで、給食という文化はハンガリーにはないようなので、こちらの文化を体験いただいたというところがございます。

稲田小につきましては、ハンドボール界のスーパースターということで、ナジ・ラースローさん、それからナジ氏のご夫人、それからナメシュ・ローランド氏、通訳でございますが、この3名にお越しいただきました。稲田小につきましては、体育館で全校集めての交流会を行って、そちらでじゃんけん大会、質問コーナーなどをやったと、その後、6年生、たしか2クラスでありますので、合同で特別教室に集まって給食を食べたというところでございます。

ハンガリー給食につきましては以上でございます。

続きまして、資料4でございますが、こちらは給食の交流会の翌日の11月30日でございますが、ハンガリーフェア in 北区を実施いたしましたので、そちらの報告でございます。

11月30日土曜日の10時半から15時半まで、滝野川体育館及び滝野川公園で実施をさせていただきました。主催は北区ではございましたが、(5)協力というところで書かせていただきました。非常に今回、リレーションシップ協議会にもご参加いただいている皆様方はもちろんのことですけども、ハンガリー友好協会であったり、大使館、女子栄養大学やドナウフォトクラブ、また民間企業では大日本印刷株式会社にもご協力をいただいたと

いうところで、まさに in 北区の名にふさわしいオール北区でのイベントになったかなというところがございます。

ゲストにつきましては、トート・ラースローさんは柔道協会の会長さんですね、学校給食訪問いただきました、ナジ・ラースローさんはハンガリーのハンドボール代表のスーパースターでございまして、現役の副会長でもございます。それから、カラカシュ・ヘドヴィグ選手とペーテル・トンチュコーチ、この4名をスペシャルゲストということでお招きいたしました。

実績でございますが、来場者数、こちらは啓発グッズ、お手元にハンガリーのボールペン、啓発グッズをお配りしてございますが、こちら、今回のイベントに向けて新しくつくったものでございます。ハンガリー、頑張れというような言葉が書いてございますが、こちらを受け付けで配布しておりますので、そちらの配布による実数ということで、約1,200名という集計になってございます。

ただ、一方で会場に入らないで屋外、特に商工会議所さんと商連さん、また青少年委員会さんにご協力いただいたイベント、また飲食ブースだけお楽しみいただいておりますので、一部では2,000人ぐらいという話も聞いてございますので、実際は1,200人以上は来ているのかなというところがございます。

実施内容につきましては、ナジ氏によるハンドボール体験、こちらはお子様を中心に、初めてハンドボールをやるお子様が多かったかなというところですが、208センチのナジ氏と一緒にということで大いに盛り上がったというところ。②のハンガリー選手との交流会につきましては、ナジ氏とカラカシュ選手、こちらとじゃんけん大会とかゲームコーナーのようなものを作って、大いに盛り上がったというところがございます。

続きまして、裏面でございます。体験ブースでございますが、こちら、チャレンジダンス、書道パフォーマンス、ボッチャ体験、スマートフェンシングというところで、皆様方の各団体様にご協力いただきながら開催できたというところがございます。そのほかにも、体協さん経由でご協力いただきましたナジさんとのバスケットボールをしようなどを実施

したというところがございます。

それから、ちょっと資料の訂正がございまして、（５）の協力というところで、先ほど私、口頭で、北区青少年委員会さん、紙相撲と、青少年委員会さんと言ったんですけども、すみません、資料で抜けてございますので、協力というところで、青少年委員会さん、大いにご協力いただいておりますので、追加させていただきまして、また、大変失礼いたしました。おわび申し上げます。

すみません、途中で途切れてしまいましたが、また裏面にお戻りいただきまして、1階ロビーでございますが、こちらではハンガリー写真展、ハンガリー絵本の読み聞かせ、それから、民間の城西国際大学さんにご協力いただきまして、ハンガリーの留学生によるハンガリーブース、民族衣装等の紹介等をさせていただきました。また、ハンガリー代表のユニフォームですね、実際に着用したものであったり、カラカシュ選手の国際大会のメダル等を展示したというところがございます。

それから、第二武道場、地下でございますが、こちらではトップアスリート直伝柔道教室、カラカシュ選手とペーテルコーチを講師として行いました。こちらについて前回、9月2日に柔道交流会というものをやっておりますが、こちらと若干、中身が違うのは、今回はゲストではなくて講師として、指導も含めて全てハンガリーの柔道協会さんにお任せしたというところが特徴的なところ、したがって、従前から区のほうで行っていますトップアスリート直伝の各種スポーツ教室、バドミントン、卓球、バスケット、タグラグビー等々ございますが、その柔道版ということで実施をさせていただいたというところが、前回から、9月2日ですとゲストという形ではございましたが、一緒に開催できたかなというところで、交流が深まったところかなと我々としては受けとめているところがございます。

最後、滝野川公園でございますが、飲食ブース、ハンガリー物産展、ハンガリー紙相撲、ハンガリーダンスというものを行いました。写真の左が物産展と飲食ブースのテントでございますが、体育館よりすごく盛り上がって、体育館ももっと盛り上げなくちゃと思うぐ

らい、我々も準備で忙しかったので、外はなかなか最初、見る余裕がなかったんですけども、外にちょっと目を向けてみると、すごい人が来ていたのでびっくりしたというところで、皆様方の力をここでは非常に強く感じたということで、また今後もこういった風景を見たいなと思ったところでございます。

右が、青少年委員会さんにご協力いただいた、紙相撲の等身大といたしますか、大きなものでございます。ちょっと小さくて恐縮なんですけれども、左側にオレンジのトレーナーを着ているのがカラカシュ選手、右側に黒いコートを着ている、少し背の大きな方がナジさんということで、実際にハンガリーのスペシャルゲストの方にも、日本の文化であります紙相撲を体験していただいたというところでもございます。なお、多分右側でしょうか、金髪の女性、こちらはカラカシュ選手を模したものというところで、終了後にはこちらの紙相撲と一緒に皆さん、記念写真、また、実際のこの紙相撲のところにカラカシュ選手のサインをもらう等、青少年委員会さん含めまして、お子様、皆さんとの交流もこの場でも行われたというところでございます。

事業については報告は以上でございますが、こちらの内容でございますが、教育委員会が発行しております教育広報紙くおん、がでございます、こちらの1月号の1面で、給食とこちらの柔道教室等を掲載させていただくということになっておりますので、また魅力ある紙面となるように、教育委員会と連携しながらお届けしたいなと思ってございます。

報告は以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。ただいまご報告いただきましたが、いかがでしょうか、何か質問等ございますでしょうか。

【越野委員】 今、課長さんからご報告がありましたように、お天気にも恵まれたんですけども、非常に賑わって、いいイベントになったなというふうに思います。

1つ、今回、天気がよかったという理由だけで入場者が多かったわけじゃなくて、大変、オリパラ課の皆さんも、それから、我々も協力しましたけれども、多くのところにイベントの開催が届くような広報を結構やったんじゃないかなと思うんですね。チラシは5万部

ぐらい刷ったんでしたか。

【事務局】 そのくらい刷っています。

【越野委員】 そうですよ、それも、商工会議所も1,800の会員に全部行き渡るように配ったりもしましたし、それから、別の地域イベントがその前に幾つかあったので、そこで配らせていただいたりとかということがあって、ただ単にどこかの施設に山積みになっているとかというのじゃなくて、かなりきちんとして行ったというのが非常にあったと思うんですね。だから、そこをやっぱりぜひご報告をいただいて、これがライブサイトの、人を集めたりとか、そこにつながるだろうし、それから、具体的に、じゃ、チラシを10万部にするのがいいのか、それとも別の方法がいいのかとか、いろいろあると思うんですよ。それから、たまたま時間が短かったので、私どものほかの団体はどこまでご協力されたかよくわかりませんが、例えば、じゃ、それだったらぜひそういうことをやっぺいとかというので、ぜひその部分をご報告いただきたいというのが1点。

それから、それに関連して、実は私どもの商工会議所のシティープロモーション委員会のほうで、フェイスブックイベントページをつくりまして、北区ハンガリー東京2020、ハイラーというイベントページをつくったんですけれども、こちらのほうを10日ぐらい前につくったんです。10日ぐらい前につくったんですけれども、ここでいわゆる、ちょっと用語としてあれなんですけれども、リーチした数が2,000、つまり、イベント期間中にPCとかスマホとかで映るように届いた、フェイスブックをやっている人のところに届いた数が2,000、それから、それをちゃんと開いて見てくださった方が171というデータがあるんです。

これは結構すごい数字で、もう一つは、イベントが終わった後、400ぐらい増えているんです。つまり、イベント終わっちゃうと、皆さん、役所の場合、何もやらなくなっちゃうんですけども、今、このページは続けているんです。続けていて、後でお話、また出ると思いますけれども、ハンガリーの応援のことをいろいろやっているわけです。そうすると、じわじわりリーチしている数が増えているんですよ。これはまるっきりお金を払う広告

を一切やっていなくてこれですから、意図的にわずかな金額の、月1万円とかにして、もっとやったら、もっと増えるんですね、これ。あとは、見ていただいた方が、ここにいるメンバーなんかシエアをしていただいたら、もっと増える。だから、明らかに、前からこれ申し上げていますが、こういうことをやるというのは、物すごく予算の少ない中でもって効果が上がっているということ、やってみて再認識しています。ぜひそうやっていただきたい。

例えば、そういう同じようなことと言えば、これだけ一生懸命、給食をおつくりになられる方がやったわけですから、例えば、そのレシピをユーチューブに載せるとか、それがまたこのページにもリンクしているとか、インスタに載せるとかやると、多分ものすごく盛り上がると思うんですよ。これは真剣に僕、ずっと言い続けているんだけど、ぜひやっぱりちょっと担当をどなたか若い人を決めていただいたら、もうたちどころにやれちゃうと思うので、私なんかも聞いたふうなことを言っていますが、よくわかっていないところがあるので、ぜひ決めて、やっていただくと、本当に盛り上がるんじゃないかなと思います。

以上でございます。

【齊藤座長】 いかがですか、事務局。

【事務局】 まず、今、委員にご指摘いただいたPRの点というところでございますが、従前からチラシ等は区でも配ったり、各種イベント、やってございました。一方でやはりホームページとかフェイスブックとかSNS系ですね、こちらが弱いんじゃないかというところで、最近どうも区としてはそちらのほうにちょっと力を入れていたところもあったんですけど、今回、商工会議所さんにチラシの作成のアドバイスであったり、配布方法のアドバイス等もいただきまして、また、越野委員からお話があったとおり、会員様に配っていただいたりということで、やはりチラシの力というのも、あと、やはり配り方ですね、届けに行くというところの大切さというのは感じたところでございますので、また今後、イベントをやっていく中で、ご協力、またアドバイス等いただければなと思っています。

るところでございます。

北区ハンガリーのフェイスブックでございますが、すみません、私も承知しております、フォローはさせていただいているというところで、イベントが終わった後も、区のホームページのフェイスブックかなと思って見ていたら、いっぱい報告いただいているのがこちらのアカウントだったというところで、非常に驚いているとともに、そちらのほうはどうも、いいね数が多かったかなというところもございましたので、今後、後ほどちょっとハンガリー応援団というところでもお話はさせていただきますけれども、皆様方の自主的な協力というところはしっかりといただきながらも、連携していきたいなというところは強く思ったところでございます。

以上でございます。

【越野委員】 1点だけつけ加えさせていただくんですが、オーディエンスとって、見ている人の比率があるんですよ。これが東京都北区の区内の人、これは40%なんです。そのほか、荒川、板橋、川口、さいたまというところが大体5%とか4%とか、そういう数字なんですけれども、つまり、半分以上は区外の人が見てくれているんですよ。だから、それがどのぐらい足を運んでくださったかというところまでは追えないんですけども、僕らがこれをやっているのは、やっぱり住めば北区につながるというイメージでやっているわけで、だから、どんどん、チラシなんかだとどうしてもやっぱり区内の人だけになってしまうんだけど、こういうものをしっかりやることによって、区外の人に北区のよさだとか、北区が一生懸命気運醸成をやっているということが伝わっていくという、その部分をやっぱりぜひ、認識をしていただけるといいんじゃないかなというふうに思います。

【齊藤座長】 やっぱりSNSの力というのは大きいですよ、最近。私も余り得意じゃなくて、学生のほうがうまいんですけども、フェイスブックもそうですし、あとはツイッターであるとか、いろいろなコンテンツがありますので、ぜひ使っていたほうが広がるんじゃないですかね。最近はまだ暇なときは、例えば北区、イベント、日にちを

入れると、それでもうその日のイベントがぼんと出てきて、そこに遊びに行くというような状況ですので、そういった、やっぱりSNSを媒体としてというのが一番大きいでしょうね。

【越野委員】 若い人はインスタとユーチューブです。フェイスブックは我々ぐらいの年代です。

【齊藤座長】 そうですね。

あと、この給食ですけれども、30校でやっていただいた、これは、せっかくですから、1回じゃなくて、何回かやったほうが、イメージというか印象がつくと思いますので、ぜひやるといいんじゃないですかね。

【事務局】 給食でございますが、今回、各学校様、計30校、ご協力いただきました。今後につきましては、栄養士さん含めまして、学校側の協力が大前提ということでございますので、学校サイドと調整しながら、できれば事前キャンプ直前がいいのかなとかちょっと考えながら、いうところでございますが、もう一度やって盛り上げていきたいなとは思っているところでございます。

【齊藤座長】 もう間に合わないかもしれませんが、本当はこのグヤーシュなんかを見ると、クリスマスメニューにはちょっと色合い的に、合いそうな感じがするんですけれどもね。まあ余計なこと言いました。

そのほか、ございますでしょうか。

【二村委員】 私どもも参加をさせていただきましたので、報告を兼ねて。私どもスポーツ推進委員協議会は、午前中、ボッチャを1時間ほどさせていただいて、ボッチャのコートを2面つくりまして、おおむね80人ですね、お子さん40名、大人の方40名で、ほぼ両面ともゲームが切れることなくずっと回っていたという、かといって長い時間待っている方もいなかったというような形で、ちょうどいい人数であったかなというふうに思っております。

あと、きょう私の隣のコミスポたきのがわの大竹が来ていないんですが、コミスポたき

のがわのほうも私、かんでいきますので、午後行った書道のパフォーマンス、席書というらしいんですけども、真ん中にどんと大きな文字を書きまして、その文字からイメージできるものを皆さん、勝手に好きなものを書いていただくと。こちらも大体20名ぐらい、書いていない人がいない時間帯はなかったかなという形で、それなりに、地味ではあったんですけども、予想以上に書いていただいたのかなというふうに考えております。あれ以上来ると真っ黒になっちゃったかなという感じで、ちょうどいい黒のバランスがあったかなというふうに、4枚ほど大きな字を書いて、やっていただきました。

あと、当日も参加した私どもの委員から、何人かから同じ意見があったんですけども、滝野川体育館の入り口なんですけど、区民まつりのときもそうなんですけども、自動ドアのほうしか開かない。あれは何でメインのところをあけないんだろうねと。確かにサンタクロースのディスプレイなどがあって、開けられない事情もあるんでしょうけど、何か決まりがあって開けられないのか、外はすごく盛り上がっているのに、空気の一体感に欠けるんですよ。次回、オリンピックまで、滝体を使ってそういう外と中で連携するイベントがあるかないかわかりませんが、何か制約があるのであれば仕方ないんですが、あのメインのところを開けたほうがいいんじゃないのかなという意見が複数挙がってました。

あと、当日、体育館の中で私たち、動いている中で、あの人たち誰という、スポーツボランティアさんだったんですね。私たちも全然認識をしておりませんで、誰なんだろうと不思議に思っている委員が多かったので、胸に下げている名札をじっと見に行ったら、スポーツボランティアと書いてあったので、やっとわかったと。今後つくる予定かもしれないんですけども、ブルゾンとかTシャツとかで、やはり北区スポーツボランティアという、もう少し、一体感ある活動をしていただいているので、そういったものを用意して差し上げたらいかがかなというふうに思いました。

【齊藤座長】 お願いします。

【事務局】 まず、自動ドアの件でございますが、区民まつり等についてはちょっと私、

承知していないので、お答えはできないですけれども、今回につきましてはちょっと気候的に、まあ日なたは暖かかったんですけれども、開けると館内がちょっと寒くなるというところがございました。現時点で、アリーナについては空調がないので、動かないと寒いと。ロビーにつきましては暖房が入っていたというところがございますが、やはり開けてしまうと寒いというところがございましたので、ちょっと今回は閉めさせていただいたという経緯でございます。

また、スポーツボランティア、いわゆるスタッフがわかりにくいという点でございますが、実は我々もちょっと今回、承知していたというところではございますが、通常ですと、気候がよければ、ポロシャツというところで、真っ青なポロシャツで、我々行政側のスタッフも含めて、誰がスタッフというところは一目瞭然というところがございますが、今回はちょっと寒かったというところで、上着を羽織ったというところがございます。そこに対しての工夫というところで、例えば腕章をつけるですとかそういったもの、もう少しお客様から見て、案内ができるような形ができたかなというところは反省点でございますので、今後イベントをするに当たっては、やはり案内がしっかりしていないと体育館の中に入っていないとか、そういうところもあるかと思っておりますので、総合案内的なところも含めまして、スタッフをどう目立たせるか、ちょっと改善していきたいなと思っておりますのでございます。

【齊藤座長】 そのほか、ございますか。

では、特になければ、報告に関してはこれで終了したいと思います。

では、次に5番目です。その他事務局からというところで、(1) (仮称)ハンガリー応援団設立についてというところがございますが、こちらのほうの説明を願います。

【事務局】 それでは、次第の5、その他事務局からということで、(1) (仮称)ハンガリー応援団設立についてでございますが、こちら、内容についてちょっとご説明させていただきます。

これまで、事前キャンプ、覚書を締結して以降、9月2日の交流会、ハンガリーフェア、

行ってきました。また、8月末に行われました柔道世界選手権におきましても、北区から数名の応援ということで行っていただきまして、少しずつ盛り上がってきたかなというところでございます。もう来年、オリパラを迎えるところでございますが、より一層の気運醸成と、あとはハンガリーの選手団に力を伝えていくというところをもっと強化していきたいなと思っているのが、まず、狙いでございます。

そういった中で、応援団とは書いてございますが、具体的にどういうことをやりたいかというイメージをこれから考えていくというのが正直なところでございまして、何かしら皆様方からヒント等、意見いただければなというところで、今回は、こういうことを区がやろうとしていますというところで、ご意見を、この場でもいいですし、今後折を見て、いただければなと思っております。ただ、方向性としましては、気軽に皆様方が自主的に応援できて、かつ、ばらばらではなくて団結してハンガリーの選手団に力を与えられるような形がいいのではと思っております。

他自治体というところでちょっと調べさせていただいて、ご紹介させていただくと、幾つか応援団みたいな形で募集をかけて、やっている自治体はございます。事前キャンプであったり、ホストタウンの都市でございますが、そういったところだと、事前キャンプに向けての、事前キャンプの、簡単に言うとボランティアも兼ねて、あとはイベントの企画とかそういったところにも参画してくださいと、で、一緒に応援しましょうという、いわゆる応援団というよりは、支援するという側面が強い自治体が結構多いのが現状でございます。

一方で、北区におきましては既にスポーツボランティア制度がございまして、今後もコミュニティライブサイト、また今回の事前キャンプの、それからまた聖火リレーという大きなイベントもございまして、またそちらにつきましては別途、全体的なボランティアというところで、皆さん協力していただく方をふやしていきたいなと思っておりますので、北区におきましては、支援するというのではなくて、もう純粋に応援して盛り上げていただけるというのを、もう少しまとまってやっていきたいなというところでございます。

なので、例えばということで、事務局レベルで思いついているのが、認定証みたいなもの、ハンガリーを私は応援しています、みたいなカードを配って、今後、3月下旬には100日前イベントというのを予定していますので、そういったところのブースに来ると何かちょっと特典があったりとか、事前キャンプ、今後、来年、ハンガリー選手団が来る折に、例えば練習を見学できる場合に、ちょっと選手に近いところに行けますよとか、何かちょっとした特典を与えて、かつイベントに参加、また、先ほど越野委員からもお話があったとおり、若い世代でございますと、フェイスブックのみならずインスタなどでどんどん広げていただけるようなきっかけとなるようなものも1つかなと思ってございます。

あくまでも今思いついている範囲ということでございますので、何かいい意見があれば、この場だけでもなくて、すぐにではないので、何かお知恵をいただければなというところで、今後のイメージとしては、3月下旬に100日前イベントがございまして、後ほどご案内しますが、2月のリレーショで、こんな概要で進めていきたいというのがご報告できるようなスケジュール感で、3月下旬の100日前イベントで区民の皆様にお披露目できるみたいな形で、来年度の実際の本番につなげていければなと思っているのがハンガリー応援団設立についてという意味合いでございます。

とりあえずそこまで、何かご意見があれば。

【齊藤座長】 これは協議事項には入っておりませんので、まだ協議の前の段階ということで、ご意見いただきたいというところでございますが、この場でいかがですか、何か。

【越野委員】 今、東商のほうで考えております、いろいろ皆さんのご意見もいただきながら考えているところとしては、ハンガリーの応援団というのはすごくいい発想だと思うので、あれなんです、その前に、何でハンガリーなのか、ハンガリーということの知名度をどんどん北区民に対して、もしくはその周りの人たちに対して、上げていくことがすごく大事だろうと思っております。

その上で、東商として今考えておりますのは、実はきょうちょっとこれに来る前に六本木の新国立美術館に行って打ち合わせをしてきたんですけれども、今、ブダペストのハン

ガリーの美術展をやっているんです。これは日経新聞の主催なんですけれども、そちらと打ち合わせをして、2月の中旬前ぐらいに、実はそのハンガリー展の解説イベントみたいな、それと美術館の楽しみ方みたいな、少し範囲を広げた、そういうのをちょっとやろうと思っているのが1つあります。

それから、これも5月か6月か、今いろいろお話の出たこととどういうふうにリンクさせようかと思っているんですけれども、赤羽の七福神広場ですね、ビビオのころの、あそこなんかと今、いろいろなことを練っておりまして、実は今年、台湾夜市というフェアをやったんですけれども、そんなような形で、ハンガリーのものをちょっとやってみようかというようなことを考えています。

いずれにしても、全く今、課長がおっしゃったとおりで、単発でやっても効果が薄いわけで、そういうものにぜひこのリレーションの皆さんにも、やるよとなったときに、お知らせをして、じゃ、そこに何かのっからせてくださいよとか、そういうことにしていただいたらと思いますし、そういう意味では、これから各団体がいろいろ企画していくものを、ハンガリー応援団の何か印のついたイベントみたいな、承認とかいうと、またややこしくなるからあれなんですけれども、それもハンガリー応援団の一部ですよ、みたいなことにしていくみたいな、で、何か統一したちょっとロゴみたいに出して、それが今度、一般の人たちにも広がっていったら、そういうバッジになって、特典が得られるみたいな感じにこう広げていくと、いいのかなと思っています。

あと、さっきホストタウンの話が出たんですけれども、ハンガリーのホストタウンになっているのが全国で6つか7つぐらいなのかな、我々はホストタウンになっていないんだけれども、我々も含めてたしか7つぐらいだったと思うんですね。そういう人たちにも、そういう商業イベントみたいなときにはお声がけして、酒田だとか岩手だとかが出てくださるみたいな感じで、何か出していただくとか、そこにつながりを持つとか、それから、千曲市は大変な被害を受けたんですが、実は千曲はハンガリーのホストタウンなんです。例えば、そういうようなことを、千曲に何か助けるじゃないけれども、義援するみたいな

ことも、そのプロセスの中でやっていくとか、何か、せっかくなので、実は文京はホストタウンになっていて、ホストタウンを集めるイベントみたいなのをやっているんだけど、やっぱり東京にいる我々が中心になって、何か地方とのリレーションをやっていくとかというようなことを、ぜひやりたいなと思うんですね。

そのときにぜひ、さっきの、例えば美術、絵画のあれだとかというようなことになれば、教育委員会さんのご支援もいただきたいと思うし、それから、産業振興課さんとかという話になると思うんですけども、ぜひそういうことで、オリパラ課以外の役所の皆さんにもいろいろと応援をしていただきたいなとか、一緒に連携していきたいというふうに思っています。そのほか、音楽だとか文化、いろいろと進めていきたいと思います。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、これもご意見いただきながら、こういった組織化するというような方向で進めてまいるといことでよろしいですかね。ありがとうございます。

【事務局】 今のハンガリーを応援するというところで、1つ、直前で申しわけなかった、ご紹介ですけども、明日から13、14、15とフェンシングの高円宮杯ということでワールドカップが幕張メッセホールBで、もう実際の来年のオリパラのフェンシング大会のプレイベントということで、来年の本大会と全く同じようなセキュリティー等でやると聞いてございます。こちらにハンガリーの選手が明日、3名、出場されるということで、入場無料となっておりますので、お時間に余裕がある方、お知り合い含めて、お誘い合わせの上、また、先ほどから出ているようにSNS等を使ってちょっと調べていただいて、それをシェアする等、いろいろとやっていただいて、一人でも多くの方がフェンシング、特に北区、フェンシング事前キャンプでございますし、フェンシング教室等も通年通してやってございますので、フェンシング、そしてハンガリーというところを応援するきっかけとして、第一歩ということで、明日でございますが、みんなでご協力いただければなと思っていますので、ご案内させていただきました。

【齊藤座長】 ありがとうございます。明日から、どちらですか、場所は。

【事務局】 幕張メッセ、ちょっと遠いんですけども、ホールBで行ってございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、次、6番のほうにまいりたいと思いますが、各関係団体・機関からの報告ということで、それでは河村委員さんのほうからお願いいたします。

【河村委員】 日本スポーツ振興センターの河村と申します。こちらの資料をご用意しましたので、ご案内します。前回のリレーションのときに、私ども、毎年10月の体育の日にスポーツイベントを行うということで、少しご案内をしたと思いますけれども、その結果報告等させていただきます。このご案内については、北区様のほうにも広報紙のほうでのご案内をしていただきまして、北区の方にも、お子様中心に、スポーツ教室もご参加いただいたというところでございます。

1ページおめくりください。入場人数のご紹介です。実は当日、もうお忘れかもしれませんが、実は台風で、日にちが非常に不安定だったところがございます。現実的に、開会式は屋外から室内に変え、あるいは、赤羽警察さんにご協力いただいて一般の道路を走るマラソンイベントも、ちょっと中止をしたという経緯がありましたので、若干人数は減ってはおりますが、1万2,000名程度という形で、室内のスポーツ教室を実施いたしましたので、大変多くの方がおいでいただいているところでございます。

3枚目をごらんください。スポーツ教室全般のほうは、私どもの施設を使った各協議団体様のほうが小学生、中学生向けにスポーツ教室をやっているというところがございますので、ここは一般的なので、ご紹介は割愛いたしますが、北区、板橋区様におきましては、地域の交流ということで、憩いの広場、あるいは、後ほどお話しします飲食ブースみたいなところでご協力をいただいておりますので、特に北区様について、少しお写真、報告書がありましたので、そこから抜粋した形でご報告をこの場でかえさせていただければと思います。

花川区長のほうにまず冒頭、ご挨拶をいただいております。その下、見ていただきますと、稲付中学、隣にありますけれども、吹奏楽部の活動と。次の4ページ目をごらんくだ

さい。ちょうどこれが今、室内で上の2つがやっているんですけども、これが多分、本来屋外でやる予定だったものが、雨だったので室内の体育館でやっているチアリーディングチーム、あるいはバトンクラブの活動でございます。下2つが飲食ブースということで、自治会様のほうでこういうお食事のご提供等をいただきました。

大変、地域の方にもご協力いただいているこういうイベントでございます、今回、大変どうもありがとうございました。ちなみにでございますけれども、実は来年がオリンピック当該年でございます、体育の日をどうやるかというのが、これはちょっと実はスポーツ庁さんとも今、相談中でございます、明確に内容が決まっておるわけではございませんが、例年こういうイベントをやっていますので、やっていきたいと思いますところの方向は出ておまして、また年明け以降、流れが決まりましたら、また皆様にもご紹介申し上げます、またご協力等をいただければと思っております。

簡単なご報告ではございますが、この場をお借りしましてお礼を申し上げたいと思えます。どうもありがとうございました。

【齊藤座長】 ありがとうございます。そのほか、何か報告等ございますか。事務局のほうでお願いします。

【事務局】 事務局からちょっとご紹介をさせていただきます。今、河村委員からご紹介いただきましたところではございますが、その他連携というところで、1つご紹介でございますが、こちら、トレセンの新しくできた、NTCイーストの見学のツアーガイドでございます。すみません、私からの紹介になってしまうんですけども、こちらは実際にツアー参加される際に受付で一人一人に配られるもので、中身の、要は各階のガイドが載っているというものでございます。実は、ご承知のとおり、トレセンイーストの向かい側に稲付西山公園ございまして、そこに手形モニュメント、北区がつくってございます。これをやはりPRしたいなというところがございます。したがって、このツアーガイドの中に、見えないでしょうけれども、ちょっと小さいんですけども、手形モニュメントがここにありますよ、ぜひ見てくださいというチラシを区で作成させていただきまして、J

SCさんのご厚意で、こちらに挟み込んでいただいているというところですので、まだ試行段階というところがございますが、今後、例えば修学旅行生さんとか生徒さんとかが来た折には、開くと北区の紹介もあるということで、こちら、見終わった後にお土産を買って、その後、公園にもちょっとお立ち寄りいただけるというような形で、ちょっとした連携でございますが、少しずつPRをご協力いただいているというところでご紹介をさせていただきます。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほか、ないようでしたら、次は今後のスケジュールというところになりますが、こちらのほうも事務局のほうからご説明願います。

【事務局】 次第にお戻りいただきまして、7、今後のスケジュールでございますが、次回開催、来年になりまして、令和2年2月19日水曜日、午後7時から、北とぴあ701会議室を予定してございますので、日程等の調整、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。スケジュールに関して何かございますか。

お願いします。

【越野委員】 ちょっと前から考えていたことを今思い出したので、あれなんですけれども、ハンガリー応援イベントに関連して、さっきの手形のところ、あれはぜひ、ハンガリーのみえる代表選手の手形をあそこでやっていただいたらいいんじゃないかなと。これって結構、役所的には予算を早目にとっておかないとできないことだと思うので、今間に合うのかどうかわかりませんが、7月にみえたときに、1つの区画、ぜひそれをやっていただいたらいいなというふうに前からちょっと思っていて、今、課長の言葉を聞いて思い出したものですから、一言だけ、すみません。失礼しました。

【事務局】 今ご指摘いただいたとおりでございますが、事務局としてもタイミングの問題かなと、あとは思っておりますので、しっかりと対応していきたいと思っております。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、ほかに全体通じて何かございますか。

事務局のほうは何かございますか。よろしいですか。

では、特にないということですので、これをもちまして第8回のリレーションシップ協議会を終了いたします。どうもお疲れさまでございました。ありがとうございます。